



# かけはし

Vol.118

2018年度

No.1

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



## ◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

## CONTENTS

*新年度を迎えて……………1	*外来診察表……………6
*鹿児島大学 脳神経外科前教授 有田和徳先生着任のご挨拶……………2	*医療機能情報提供について……………6
*新しく赴任された部長の先生方からひと言…3～4	*4、5月の出水郡医師会 日曜祭日当番医……………7
*新人紹介……………4	*病院ボランティア募集……………7
*患者さんの権利と責務……………4	*お知らせ……………7
*リハビリの窓……………5	*編集後記……………7

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。



## 新年度を迎えて

院長 今村 博

いよいよ平成30年度が始まります。当院は本年度も、阿久根市のみならず出水市と長島町を含めた出水地域全体の救急医療と高度急性期医療の充実のため邁進して行く所存です。

出水地域は高齢化率や独居率が全国平均を大きく上回り、一人暮らしのお年寄りが数多く暮らしています。このような中、当院では『高齢化・核家族化が進む中、出水・阿久根・長島の住民に都市部と変わらない質の高い救急医療と高度急性期医療を提供し、当地域の医療を守る』を「病院の使命」として掲げ、職員全員でその実現にむけて努力しています。

日本の医療は大きな変革の時を迎えています。住民のみならずにも医療のしくみをよく理解していただき、出水地域の実情を知って貰うことで、当地域のこれからの医療を共に考えて行かなければならないと考えています。今の医療は基本的には二次医療圏と言う単位で考えます。この地域は出水二次保健医療圏と呼ばれ、出水市・阿久根市・長島町からなっています。医師や看護師など医療資源が少ない地方では、市・町ごとではなく、この二次医療圏での医療の役割分担と連携が重要となつて来ます。高度急性期医療を担う中核病院は、必ずしも居住地のすぐ近くにある必要はありません。広域医療センターは出水地域全体としては少し外れにありますが、出水二次医療圏の中核病院としての重要な働きを担っています。出水―阿久根道路の完成は、出水二次医療圏

の交通アクセスをずいぶん改善させました。

当院の医師は全員大学病院から派遣されていて、常に大学病院の先進の医療とつながっています。今年度は4月から6名の医師が入れ替わり、さらに2名の医師が増員となったため、総勢8名の新しい顔ぶれとなりました。活き活きとした新しい風が吹いています。とくに大きなニュースは、鹿児島大学で脳神経外科の教授を長年勤められた有田和徳先生が、退官後の4月から当院に赴任されたことです。全国で3本の指に入る脳腫瘍の手術数をこなすことは、とても光栄なことです。これからは脳神経外科も2名体制となり、ますます脳疾患に対する対応が充実するものと思われれます。また泌尿器科も2名体制となり、こちらも手術の体制など強化になりました。整形外科と泌尿器科は新しい部長の先生へ交代となりました。整形外科部長の泉俊彦先生はスポーツ医の資格も持つており、また泌尿器科部長の古郷修一郎先生は日本内視鏡外科学会技術認定医で腹腔鏡手術を得意とするなど、各科の発展が期待されます。

今年度は、当院にとって新しいステージの始まりを予感させます。本年度も、よろしくお願いいたします。



# 『鹿児島大学 脳神経外科前教授 有田和徳先生着任のご挨拶』



医学博士  
有田和徳

## 自己紹介

鹿児島大学脳外科教授として在職中は、臨床を精一杯やり、脳腫瘍の手術数は全国の3-5位をキープし、診療報酬請求額では全国の国立大学42校の4位となりました。脳外科教授をやめたら、地域医療に戻りたいと思っていました。そのことが実現し、大変うれしいです。出水郡医師会広域医療センターが名実ともに地域の拠点の中核病院となるようお手伝いしたいと思います。

## 専門分野

- 前鹿児島大学脳神経外科教授
- 日本脳神経外科学会専門医・指導医
- 日本てんかん学会専門医・指導医
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本救急医学会専門医
- 日本救急医学会技術指導医
- 脳腫瘍手術執刀・手術指導症例三千例
- てんかんに対する外科手術症例二百例
- 三叉神経痛等神経血管減圧手術二百五十例

## 脳神経外科ってなんだ？

・脳外科と聞くと、開頭手術の専門家のように考えられがちですが、脳外科は脳神経に関わるただ1つの基本診療科です。ですから、脳外科の守備範囲はすごく広く、めまい、しびれ、認知症、麻痺、頭痛、けいれん、手足のふるえなどおおよそ脳と神経に関わる症状の全てを診(み)、脳外科で治療すべき病気が他科で治療すべき病気を判断をすることが問われています。これが、「脳外科は外科医の眼と技を持った神経系総合医の集団」と言われている理由です。

・また、脳外科医が持っている技は開頭手術だけではなくあります。内視鏡手術、血管内手術、定位脳手術、薬物療法、定位的放射線治療、リハビリテーションなど様々な治療手段の中からベストチョイスを提案いたします。

## こんな症状を我慢していませんか？

脳外科医が治療出来るもので以外と知られていない症状や病気があります。

私と1月から赴任している菅田淳医師は、特にこのような病気の専門家です。

**だんだん歩くのがむずかしくなってきた**

正常圧水頭症かも↑シャント手術が効きます

**次第に手足の動きが悪くなってきた**

最近、人の名前が出てこない  
脳腫瘍かも↑脳外科医の知識と腕が問われる病気

**片方の顔面のびくつき**  
顔面けいれんかも↑キーホール手術で8割治る

**片方の頬や歯ぐき、唇の痛みで食べられない、しゃべれない**

三叉神経痛かも↑キーホール手術で8割治る

**視野の両側がかけてきた、物が二重に見える**

下垂体腫瘍かも↑経鼻内視鏡手術の出番です

**急に手足の動きが悪くなった、うまくしゃべれない**

脳梗塞かも↑血管内手術もある

**てんかん発作がとまらない**  
側頭葉てんかんかも↑手術治療が良く効きます

このような症状を訴えておられる患者さんがおられれば、御紹介ください。

できるだけ早急にMRIをお撮りし、説明までいたします。

多くの病気は当院で治療出来ませんが、鹿児島大学との太いパイプがありますので、必要な場合は、紹介します。スベシャリストを呼んでの治療も可能です。

## 脳外科外来日は

- 月曜日は午後
- 火曜日、水曜日、木曜日は午前と午後です。急患はこの時間帯に限りません。



## 四月から二人体制へ

本年一月から赴任されている脳神経外科専門医 菅田淳先生と共に、現在脳神経外科は二人体制で診療を行っています。ますます幅広く強力に当地域の脳疾患に対応可能となりました。



日本脳神経外科専門医  
菅田淳

# 『新しく赴任された部長の先生方からひと言』

## はじめに

本年度は4月から、整形外科と泌尿器科の部長が交代となりました。整形外科は4名の医師のうち3名が交代し、泌尿器科は2人体制に増員となりました。新しい部長のもと、さらなる発展が期待されています。新しい部長の先生方お二人に、お話を伺いました。

### 整形外科部長 泉俊彦先生

整形外科医療では手や足、背骨や脊髄などのいわゆる「運動器」の各種疾患を扱います。外傷・救急医療、加齢に伴う関節疾患・脊椎疾患など、整形外科では痛みと変形、機能障害に対する治療を担います。

整形外科は平成30年4月1日より、メンバーが変わり新しい体制で診療がスタートしています。

約9年間当地域の整形外科診療を支えた恒吉康弘先生が退職となり、同時に大学派遣ドクターの異動も重なり、4名中3名が入れ替わりとなりました。この場を借りて皆様にご挨拶がてら、新メンバーの紹介をさせていただきます。

恒吉先生の後任として赴任しました私、泉俊彦は、肩・肘・スポーツ整形を専門としています。肩関節周囲炎、腱板断裂から投球障害などのスポーツ障害でお困りの症例がございましたらご紹介いただけたいと思います。腱板断裂に関しては関節鏡視下手術から人工関節まで症例に応じて対応させていただきます。

昨年より赴任している坂元裕一郎先生と川内医師会病院から転勤してまいりました吉井理一郎先生は、股関節・膝関節の人工関節から骨きり術、半月板・十字靭帯損傷などの関節鏡視下手術まで鋭意対応させていただきま。また二人とも外傷治療に習熟しており私としても頼もしい限りです。

岩崎正大先生は、初期研修を終え整形外科1年目ですが初期研修でも整形外科を回り研鑽を積んでおり外傷から変性疾患まで後期研修として積極的に取り組んでいただいています。今後整形外科1年目の医師が定期的に交代しながら当院で研修していく予定です。

前任の恒吉先生にも毎週水曜日の午前に、関節リウマチおよび手の外科専門領域に関して引き続き

診療サポートをいただいています。また北薩地域で手薄な脊椎外科に關しても、大学病院より毎週金曜午前に外来応援いただき、手術が必要な症例に關しては金曜午後に対応できるようになりました。

また当院はリハビリスタッフも充実しており、決してマンパワーは多くありませんが、術後のみならず保存療法やスポーツ障害まで皆情熱を持って取り組んでおり、少しでも良い状態で地域の病院へ引き継いでいけるよう取り組んでいます。

外来診療はこれまでどおり月・水・金の午前中に完全紹介予約制で受け付けております。

手術は火・木曜日の全日と金曜日の午後行っておりますが、緊急の患者さんへの対応は24時間体制で行っております。

新体制になり何かとなれない事も多くご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、当地域の患者さんの十分なサポートができるよう努めてまいりたいと思っております。でよろしくお願いたします。

### 泌尿器科部長 古郷修一郎先生

泌尿器科は、尿路（腎臓、尿管、膀胱）と、男性生殖器の疾患を扱います。健康診断で尿の異常を指摘された/血尿が出る/排尿痛がある/尿が出にくい/尿が近い/尿もれがある等々でお困りの方は当科を受診してください。誠に親切にご説明し、適切な治療法を提示します。

### 診療について

本年4月から常勤医2名体制で日々の診療にあたっています。

外来診療は月・水・木・金の午前中に行っております。火曜日は終日手術、木曜日は午後手術のため、できれば月・水・金曜日の午前中の受診をおすすめします。

入院診療は、科内の医師同士が話し合いをしながら診療を進めるチーム医療を行っており、2名ともに主治医として対応しております。病院では、様々な職種の手配が働いており、異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中の生活の質（QOL）の維持・向上、患者の人生観を尊重した療

養の実現をサポートしています。  
**これからの抱負**

これまでマンパワー不足のために、大がかりな手術は大病院などに紹介せざるを得ない状況でした。今回2名体制になったことで、行いうる手術の幅もひろがりました。

近年は患者さんの肉体的、精神的負担の軽減につながる医療の低侵襲化が各科領域で進んでいきます。泌尿器科領域の疾患に対する手術手技においても、術後のより早い回復や疼痛の軽減、入院期間の短縮などに結びつく手術の低侵襲化が推奨され、様々な術式が普及してきています。この様な観点から、当院でも患者さんのQOLを重視した内視鏡的治療を主軸とした診療体系を構築していきたいと考えています。自身は泌尿器腹腔鏡技術認定の資格を有しており、また同僚の岡村俊介先生も泌尿器科若手のホープで腹腔鏡手術件数も豊富です。

可能な限り、当院で

診断から治療まで完結できるように努めてまいります。



## 新人

## 紹介



### 整形外科医師

吉井 理二郎 鹿児島県出身  
よしい りいちろう

平成30年4月より内山田先生の後任として赴任しました。平成23年鹿児島大学整形外科入局です。これまで今給黎総合病院、曾於郡医師会病院に勤務、前住地の川内市医師会立市民病院は2年間在籍しました。同じ北薩でも医療圏は異なり、まだまだ分からない事が多いです。地元でもあり、地域に貢献できるように、頑張っていきたいと思っております。よろしく願います。

### 整形外科医師

岩崎 正大 鹿児島県出身  
いわさき まさひろ

医師3年目の岩崎です。まだまだ未熟ですが、出水地区の医療に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしく願います。

### 泌尿器科医師

岡村 俊介 鹿児島県出身  
おかむら しゅんすけ

出水地区を満喫しながら医療に貢献できればと思っています。よろしく願います。

### 消化器内科医師

鉾之原 基 鹿児島県出身  
ほこのはら もとし

4月より赴任しました。5年振りです。地域の皆様に満足いく医療を提供できるように精進します。何卒よろしく願います。

### 循環器内科医師

沖野 秀人 鹿児島県出身  
おきの ひでと

医師4年目の沖野です。これから阿久根、出水、長島地域に貢献できるように頑張っていきたいと思えます。若輩者ではございますが宜しくお願いします。

## 患者さんの権利と責務

### ～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

# リハビリの窓 ～認知症について～

ここ数年ニューズでも数多く取り上げられ、耳にする機会も多くなった『認知症』ですがみなさんのごく身近にもいらつしやるのではないのでしょうか。認知症高齢者の自動車運転による死亡事故も多く発生しており、ここ数年他人事ではなくなってきたように感じます。今回は『**認知症**』について改めて知って頂き適切な対応をしていただけたらと考えます。

## 【認知症とは?】



認知症とは「脳に起きた変化によって記憶障害（もの忘れ）などが起こり日常生活を送ることが困難になっている状態」をいいます。

認知症は大きく3つに分ける事が出来ます。「アルツハイマー型認知症」「脳血管性認知症」「レビー小体型認知症」

この3つが認知症患者の約7割を占めています。特に「アルツハイマー型」は全体の5割を占めています。今回このアルツハイマー型認知症について詳しくお話をしたいと思います。

## ◆アルツハイマー型認知症

認知症になると出てくる症状（中核症状）は大きく7つあります。

### ①記憶障害

②目には見えているのにそれが何かわからない（失認）

③名前が出てこない。あれ、それ、などの表現になる（失語）

④手足は動くのに、どうするのか、どうしたらいいのか分からなくなる（失行）

⑤手順が分からなくなる（遂行機能障害）

⑥日時・場所が分からなくなる（見当識障害）

⑦理解力・判断力の低下などがあります。

## 【治療方法はあるの?】

認知症の根本的な治療方法はありません。ですが、**進行を遅らせる**ことはできます。一つは薬物療法です。薬の種類も多く飲み薬だけでなく貼り薬などもあります。前記したように薬で進行を遅らせることができるため**早期発見・早期治療**が大切です！



もう一つはストレスを減らすことです。「焦り」や「不安」などのストレスは病気を進行させる大きな要素と言われている先生もいらつしやいます。私たちが「**適切な関わり**」をすることでストレスを減らし、認知症を進行させないようにすること

ができるのです。

## 【認知症の人の頭の中…】

一昔前までは『痴呆』と言われて、『何もわからなくなっている、だから問題行動を起こしてしまう』と言われてきました。ですが現在では、『分かることも沢山あるからこそ行動・心理症状（問題行動）を起こしてしまう』と言われていきます。アルツハイマー型認知症になると記憶障害が原因で、

- ・ ご飯を食べたのに食べてないと言
- う
- ・ 同じことを何度も話す、聞く
- ・ 食べられないものを食べる
- ・ 服を上手に着られない・・・など。

色々な行動を起こしてしまっています。でも本人は決して「間違ったことをしよう」、「誰かを困らせよう」と思っているわけではありませ

ん。人は常に記憶を頼りに生活しています。「記憶障害」が原因でこう言った行動を起こしてしまいます。分からなくなったわけではなく、「分



## 【認知症介護のポイント】

まずは、「認知症の理解（知識や関わり）」に加えて相手の思いを汲み取るために「観察力」と「想像・創造力」が必要であり、そしてなによりも、目の前の一人の「人を理解」することで適切な関わりができると言われています。

認知症の人と関わる時大事にしたことは、ちゃんと「**最後まで話を聞くこと**」と、もう一つは、何をしたら良いか「**声をかけてあげる**」ことが大切です。



## 【最後に…】

認知症は根本的な治療はありませんが進行を遅らせることはできます。何かおかしいなと思ったら**年齢のせいと考えて放置することなく、できるだけ早く医療機関に相談**しましょう。何かおかしいなと気づいてから医療機関に相談するまでに約7割の方が2年以上かかっているとの報告があります。

一度診断を受け「大丈夫ですよ」と言われても年々症状が悪くなるようであれば、もう一度相談に行きましよう！

（文責：大坪）

# 外来診察表

平成30年4月5日 現在

診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
循環器内科	午前	安崎 和博 田端 宏之	田端 宏之 沖野 秀人	福元 大地 沖野 秀人	検査日	安崎 和博 福元 大地 立石 繁宜	予約検査	
	大石 充 (鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授) 第3水曜日診察 <small>※都合により第4水曜日になる月もあります。</small>							
(一般内科)	午前	(安崎・田端)		(福元・沖野)		(安崎・福元)		
心臓血管外科	午前		【第2】(熊本中央病院・心臓血管外科医)					
脳神経内科	午前	児玉 大介 (鹿児島大学病院)						
血液内科	午前午後				新居 亮彦 (鹿児島大学病院)			
眼科	午前午後						鹿児島大学・眼科医	
脳神経外科	午前	手術日	菅田 淳	菅田 淳	菅田 淳	検査日	予約検査	
	午後	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳 (14:00まで)	検査日	予約検査	
整形外科	午前	泉 俊彦 坂元 裕一郎 吉井 理一郎	手術日	坂元 裕一郎 岩崎 正大	手術日	泉 俊彦 吉井 理一郎 鹿児島大学・脊椎専門医	予約検査	
	午前			恒吉 康弘				
	午後			恒吉 康弘 (第2・4)				
泌尿器科	午前	古郷 修一郎 岡村 俊介	手術日	古郷 修一郎 岡村 俊介	古郷 修一郎 岡村 俊介	古郷 修一郎 岡村 俊介	予約検査	
放射線科	午前	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		堀之内 信		
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)	午前午後		鹿児島大学・耳鼻咽喉科医			鹿児島大学・耳鼻咽喉科医		
消化器病センター	消化器内科	午前	紙屋 康之		紙屋 康之 銚之原 基	銚之原 基	予約検査	
	消化器外科 (外科)	午前	手術日	今村 博 田辺 元	手術日	今村 博 加藤 健司 刃木 文平 手術日	予約検査	
	化学療法外来	午前	(今村 博)	加藤 健司	(今村 博)	山崎 洋一	消化器外科医	
	緩和ケア外来	午後		消化器外科医 (16:00~17:00)		消化器外科医 (15:00~17:00)		
	セカンドオピニオン外来	午後		今村/加藤 (16:00~16:30)				
	胃カメラ	午前	銚之原 基	紙屋/銚之原	熊本大学・消化器内科医		紙屋 康之	予約検査 (熊本大学・消化器内科医)
	大腸カメラ	午後	銚之原 基	紙屋/銚之原	熊本大学・消化器内科医		紙屋 康之	
	肝臓内科	午後	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長) 第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30)					要予約/要紹介
乳腺外来	午前午後	吉中 平次 (鹿児島市立病院/乳腺外科部長) 第4火曜日診察(受付 9:00~16:00)					要予約/要紹介	

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介) ※ただし急患はこの限りではありません。  
 ※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。  
 ※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。



## 医療機能情報提供について



当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるように冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

## 4、5月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



月日	出水市	阿久根市	長島町
4月29日(日)	クリニックなかむら 広瀬産婦人科医院 TEL 62-0241 TEL 62-1559	上園医院 TEL 73-1055	飯尾医院 TEL 88-5040
30日(月)	つかさとクリニック 荘記念病院 TEL 67-5560 TEL 82-3113	内山病院 TEL 73-1551	平尾診療所 TEL 88-2595
5月 3日(木)	三慶医院 よしだ泌尿器科クリニック TEL 63-2333 TEL 63-7800	鶴見医院 TEL 73-0553	鷹巣診療所 TEL 86-0054
4日(金)	野田診療所 おかだクリニック TEL 84-2023 TEL 63-7011	しみずこども医院 黒木医院 TEL 68-0633 TEL 75-0200	長島クリニック TEL 88-6405
5日(土)	せき耳鼻咽喉科クリニック 林泌尿器科クリニック TEL 64-1187 TEL 64-8800	いまむらクリニック TEL 73-1700	平尾診療所 TEL 88-2595
6日(日)	さくら通りクリニック わかすぎ皮膚科クリニック TEL 62-2311 TEL 64-1313	門松医院 TEL 64-6100	飯尾医院 TEL 88-5040
13日(日)	整形外科ばくちクリニック 出水病院 TEL 64-8260 TEL 62-0419	阿久根眼科 TEL 72-0040	鷹巣診療所 TEL 86-0054
20日(日)	出水眼科 こどもクリニック永松 TEL 62-8350 TEL 64-1500	北国医院 TEL 72-0016	長島クリニック TEL 88-6405
27日(日)	キッズクリニック 境田医院 TEL 63-7707 TEL 67-2600	山田クリニック TEL 72-0420	平尾診療所 TEL 88-2595

### \*病院ボランティア募集\*

出水郡医師会広域医療センターでは、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

#### 活動内容

- 1 身の回りのお世話  
花を生ける・水を替える、箸湯のみの洗浄、下膳、お茶くみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て
- 2 話し相手  
筆談、手話、本を読む等
- 3 その他  
院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈、花壇の整備等

(応募お問い合わせ)

出水郡医師会広域医療センター

総務課まで

TEL 73-13331  
(内線 371・374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。



### 意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せ下さい。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載していますのでよろしくお願い致します。

### 編集後記

満開だった桜もあっという間に散り、新年度のスタートとなりました。当院も35名の新入職員が仲間に加わり活気に満ち溢れています。皆様方も入学、人事異動など新たな環境でお過ごしの方も多いうらっしゃるのではないのでしょうか。春らしいあたたかい陽気になりましたが、まだまだ朝夕は肌寒さを感じます。体調管理をしっかりし、これからの新緑の季節を楽しみたいものです。

ここで一句 「山々を 緑に染めし 春の風」。

(吉野)